

## 大菊 3 本仕立て年間スケジュール表

<p><b>1月の管理</b> (冬至芽の管理)</p>	<p>① 越冬中の苗は、寒風を避けられる程度の簡単な防寒対策を。発泡スチロール・段ボール等</p> <p>② 冬季の水不足は冬至芽を極度に弱らせるので、晴天には水やりを。</p> <p>③ 10日に1回ほどの割で、通常の2倍くらいに薄めたごく薄い液肥を水やり代わりに施す。</p>
<p><b>2月の管理</b> (冬至芽の摘心) (乾燥肥料やり)</p>	<p>① 2月末から3月上旬にかけて、冬至芽の摘心をする。(先の細いピンセットを用いて摘心)</p> <p>② 寒肥月末から3月初めにかけて、乾燥肥料を冬至芽1本あたり小さじ1杯の割合で。</p>
<p><b>3月の管理</b> (用土作り)→定植用 害虫の活動が始まるので、 薬剤散布</p>	<p>① 暑さ寒さも彼岸まで、3月も下旬になると寒さが急にやわらぎ、苗も一斉に伸長を始めます。</p> <p>② 用土作り厚物→腐葉土4 赤玉中3 田土(黒土)1 乾燥牛糞2 くん炭1</p> <p>③ 用土作り管物→腐葉土5 赤玉中3 田土(黒土)1 乾燥牛糞1 くん炭1</p> <p>④ 早めに作り2~3か月寝かせるのが理想</p>
<p><b>4月の管理</b> (挿し芽) 挿し芽の土は、イ)、ロ)、 ハ)何れでもよい。</p>	<p>① 親株の肥培管理に全力投球(今月初めから通常の濃度の液肥1週間毎で施肥し、側枝を生きよい良く成長させる。過肥になると腐りやすいので、挿し芽15日前で施肥を止める)十分日光に当てて健全に育てる→「水と肥料と日光を十分に」</p> <p>② 挿し芽や苗の小鉢上げなどに必要な物は今月中にそろえる。</p> <p>イ) 市販の種まき・挿し芽の土</p> <p>ロ) 赤玉小4・鹿沼土3(バケツで3回水を替える)・パーミキュライト2・くん炭1</p> <p>ハ) 鹿沼土7(バケツで3回水替え)くん炭3</p> <p>いよいよ挿し芽4月25日~5月10日までに前日迄にしっとり湿り気の土、すぐ挿せる状態に準備しておく。挿し芽は晴れた日の午後やるとよい。</p> <p>発泡スチロールに穴を開けて、腐蝕布を敷き土を入れる。</p> <p>挿し終わったら日陰に置かヨシズなどで日よけをします。私の場合、たっぷり灌水して1週間位灌水しません。しおれてきたら霧吹きで灌水します。1週間たてば半日陽に当てます。10日もたてば丸々日光に当てて良いでしょう。但し乾燥し始めたらたっぷり灌水を行うようにします。</p> <p>挿し芽カバーふたをして3日、腐蝕布2重にかけて3日、腐蝕布1重にして3日</p>
<p><b>5月の管理</b> (小鉢上げ)挿し芽から20 日前後 (苗の摘心)小鉢上げをし てから苗が10~15cm位に 伸びたら摘心を行います。</p>	<p>① 苗の小鉢上げは9cmポット挿し芽の発根を見たら、時を移さず行るのがコツ(挿し芽から2週間~20日前後)</p> <p>② 用土→市販の花と野菜の培養土 摘心適期5月末~6月初め。2~3日遅れても草勢がついてから摘むこと。</p> <p>③ 出来るだけ小さくピンセットの先で茎の先端を摘み取ります。</p> <p>④ 摘心をしたら追肥をして側枝の発生を促します。</p>
<p><b>6月の管理</b> 摘心後5~7日間は雨の 当たらない場所に置いて 茎を徒長させないようにす ることが大切です。 ダルマさし芽6月1日 中鉢へ移植(5~6号鉢) (3枝の整枝)</p>	<p>① 3枝が良くそらい小鉢に十分根の回ったもの(鉢上げ後25日前後)から中鉢に移植する</p> <p>② 根を切り詰める網のように張った周囲の根と垂れ下がった根は、植え替えのために傷だらけになってしまうので、ハサミで切り詰める。</p> <p>③ 用土→定植用土→根の周囲に入れる土は、指先で軽く抑え込むように、気持ち堅植え上するのがコツ(軽く入れると水不足になりがち)</p> <p>④ 整枝の適期は、10cm~15cm以上になったところで3方向に成るべく水平に曲げます。</p> <p>⑤ 3枝の整枝は比較的時間がかかるので、毎日1鉢でも2鉢でも、側枝が適期に成長したもものから曲げるようにする。</p>